



SolidWorks 2011

日本語インストールガイド

本書は商用版、教育版の SolidWorks 2011 及び SolidWorks Workgroup PDM と関連する Simulation 製品を新規インストールまたはアップグレードする際の手順を詳しく説明するものです。

「SolidWorks インストールおよびアドミニストレーション ガイド」については

SWJ ウェブサイト-テクニカルサポート内-参考資料-アドミニストレーティブガイド
(<http://www.solidworks.com/pages/services/ServicePacks.html>) の各該当マニュアルをご参照ください。

インストールの前に必ずお読み下さい

- (1) お客様のシステム構成が次の条件を満たしている事をご確認ください。
http://www.solidworks.com/System_Requirements (動作環境)
<http://www.solidworks.com/sw/support/PDMSystemRequirements.html> (PDM 製品)
<http://www.solidworks.com/sw/support/vidocardtesting.html> (グラフィックカード・ドライバ)
http://www.solidworks.com/sw/support/AntiVirus_SW.html (アンチウイルスソフト)
- (2) SolidWorks 2011Beta 版及びプレリリース版からのアップグレードはできません。これらのプログラムをお使いの場合は一旦アンインストールの上、SolidWorks 2011 を新規にインストールください。
- (3) SolidWorks 教育版 2011-2012 は教育版用に提供された SolidWorks 2011 DVD からインストールする必要があります。
- (4) SolidWorks を DVD からインストールする場合には、インストールする PC 上の DVD ドライブからのインストールが推奨です。
- (5) Windows XP では Power User 以上のユーザー権限、Windows Vista、Windows 7 では標準ユーザー以上のユーザー権限での使用が推奨です。

© 1995–2010, Dassault Systèmes SolidWorks Corporation,
a Dassault Systèmes S.A. company,
300 Baker Avenue, Concord, Mass. 01742 USA.
All Rights Reserved.

本ドキュメントに記載されている情報とソフトウェア
は予告なく変更されることがあり、Dassault Systèmes
SolidWorks Corporation (DS SolidWorks) の保証事項では
ありません。

この製品をDS SolidWorks の書面上の許可なしにその
目的、方法に関わりなく複製、頒布はできません。
本ドキュメントに記載されているソフトウェアは、使
用許諾に基づくものであり、当該使用許諾の条件の下
でのみ使用あるいは複製が許可されています。DS
SolidWorks がソフトウェアとドキュメントに関して付
与するすべての保証は、エンドユーザー使用許諾契約
及びSubscription Service Agreement に規定されており、
本ドキュメントまたはその内容に記載、あるいは黙示
されているいかなる事項もそれらの保証、その変更あ
るいは補完を意味するものではありません。

SolidWorks Standard, Premium, Professional 製
品向け特許に関する注記

U.S. Patents 5,815,154; 6,219,049; 6,219,055;

6,603,486; 6,611,725; 6,844,877; 6,898,560;

6,906,712; 7,079,990; 7,184,044; 7,477,262;

7,502,027; 7,558,705; 7,571,079, and foreign patents,

(e.g. EP 1,116,190 and JP 3,517,643).

U.S. and foreign patents pending.

すべてのSolidWorks 製品に対する商標その他の注記

SolidWorks, 3D PartStream.NET,

3D ContentCentral, DWGeditor, PDMWorks,

eDrawings, eDrawings のロゴはDS SolidWorks の

登録商標です。FeatureManager はDS SolidWorks

が共同所有する登録商標です。

SolidWorks Enterprise PDM, SolidWorks

Simulation, SolidWorks Flow Simulation,

SolidWorks 2011 はDS SolidWorks の製品名です。

CircuitWorks, DWGgateway, DWGseries, Feature

Palette, FloXpress, PhotoWorks, TolAnalyst,

XchangeWorks はDS SolidWorks の商標です。

FeatureWorks はGeometric Ltd. の登録商標です。

その他、記載されているブランド名、製品名は各

社の商標および登録商標です。

文書番号: SWIG.JPN2011-1

COMMERCIAL COMPUTER SOFTWARE – PROPRIETARY

U.S. Government Restricted Rights. Use, duplication, or
disclosure by the government is subject to restrictions as set
forth in FAR 52.227-19 (Commercial Computer Software –
Restricted Rights), DFARS 227.7202 (Commercial
Computer Software and Commercial Computer Software
Documentation), and in the license agreement, as applicable.
Contractor/Manufacturer:
Dassault Systèmes SolidWorks Corporation, 300 Baker
Avenue, Concord, Massachusetts 01742 USA

Copyright Notices for SolidWorks Standard,
Premium, Professional, and Education Products
Portions of this software © 1986–2010 Siemens Product
Lifecycle Management Software Inc. All rights reserved.
Portions of this software © 1986–2010 Siemens Industry
Software Limited. All rights reserved.
Portions of this software © 1998–2010 Geometric Ltd.
Portions of this software © 1996–2010 Microsoft
Corporation. All rights reserved.
Portions of this software incorporate PhysX™ by NVIDIA
2006–2010.

Portions of this software © 2001 – 2010 Luxology, Inc. All
rights reserved. Patents Pending.

Portions of this software © 2007 – 2010 DriveWorks Ltd.
Copyright 1984–2010 Adobe Systems Inc. and its licensors.

All rights reserved. Protected by U.S. Patents 5,929,866;

5,943,063; 6,289,364; 6,563,502; 6,639,593; 6,754,382;

Patents Pending.

Adobe, the Adobe logo, Acrobat, the Adobe PDF logo,

Distiller and Reader are registered trademarks or trademarks

of Adobe Systems Inc. in the U.S. and other countries.

For more copyright information, in SolidWorks see Help >
About SolidWorks.

Copyright Notices for SolidWorks Simulation
Products

Portions of this software © 2008 Solversoft Corporation.

PCGLSS © 1992–2007 Computational Applications and
System Integration, Inc. All rights reserved.

Copyright Notices for Enterprise PDM Product
Outside In® Viewer Technology, © Copyright 1992–2010,
Oracle

© Copyright 1995–2010, Oracle. All rights reserved.

Portions of this software © 1996–2010 Microsoft
Corporation. All rights reserved.

Copyright Notices for eDrawings Products

Portions of this software © 2000–2010 Tech Soft 3D.

Portions of this software © 1995–1998 Jean-Loup Gailly and
Mark Adler.

Portions of this software © 1998–2001 3Dconnexion.

Portions of this software © 1998–2010 Open Design
Alliance. All rights reserved.

Portions of this software © 1995–2009 Spatial Corporation.

This software is based in part on the work of the Independent
JPEG Group.

目 次

Part I SolidWorks クライアントインストール	1. SolidWorks 2011 インストール方法 … 4
	2. 製品のアクティベーション … 16
	3. SolidWorks Workgroup PDM のインストール … 17
Part II SolidNetWork License Manager インストール	1. 概要 … 20
	2. バージョンアップ手順 … 21
	3. インストール手順 … 21
	4. SNL Manager に関する機能・操作説明 … 25
	5. システム環境条件等補足説明 … 30
Part III 複数のクライアントマシン へのインストール	1. アドミニストレーティブイメージによる SolidWorks インストール … 33
	2. SolidWorks アドミニストレーティブイメージ オプションエディタ … 34
	3. クライアントへの SolidWorks インストール … 37
	4. アドミニストレーティブイメージ/クライアントのアップグレード … 37
付録	困ったときは・・・ … 38

●SolidWorks スタンドアロン版のインストール・・・Part I をご覧ください。

●SolidWorks ネットワークライセンス版のインストール・・・Part II ⇒ Part I をご覧ください。

※SolidWorks 2011 へアップグレードする前に、全ての SolidWorks ファイル(部品、アセンブリ、図面、ドキュメント テンプレート、シート フォーマット、ライブラリ フィーチャー、フォーム ツール、他にアドイン製品関連データ等)のバックアップ コピーを取ることを強く推奨いたします。これらのファイルを SolidWorks 2011 で開き、保存すると、以後旧バージョンの SolidWorks で使用することはできません。

Part I SolidWorks クライアント インストール

1. SolidWorks 2011 インストール方法

1.1 SolidWorks Installation Manager

インストールは、SolidWorks Installation Manager (以下 **IM**) より行います。IM を使用して SolidWorks 製品のインストール・アップデート・アンインストールを行うことができます。

- ・IM は、ダウンロードやインストールのアップデートをチェックします。
- ・IM は、内蔵されているダウンロード アクセラレータを利用して、サービスパックの適用やメジャー リリースのインストールに必要なすべてのファイルをダウンロードします。

IM の詳細については下記「SolidWorks インストールおよびアドミニストレーション ガイド」の「SolidWorks Installation Manager アプリケーションヘルプ」項目をご参照ください。

「SolidWorks インストールおよびアドミニストレーション ガイド」:

http://files.solidworks.com/Supportfiles/SW_Installation_Guide/2011/Japanese/install_guide.pdf

1.2 SolidWorks 2011 のインストール

SolidWorks 2011 および関連製品のインストールは、下記いずれかの方法により開始されます。

●DVD よりインストールを行う場合 (**教育版は必ず提供されたSolidWorks 2011 DVD よりインストールを行ってください。**)

SolidWorks 2011 DVD を PC にセットすることで IM が自動起動します(注: インストールする PC 上の DVD ドライブからのインストールが推奨です。自動起動しない場合は、DVD 内の「setup.exe」をダブルクリックすることで開始されます)。


●インストールファイルをダウンロードし、インストールを行う場合 (商用版のみ)

1. Customer Portal にログインし、Download の下にある「**Downloads and Updates**」をクリックします。
(<https://www.solidworks.co.jp/install> の Customer Portal ガイドをご参照ください)
2. インストールするバージョンを「**Select Version**」より選択し、SolidWorks タブでインストールを行うサービスパック、(XP/Vista 32-bit)等の Edition)の **SolidWorks** をクリックします。
3. 「SolidWorks Download EULA」画面で[**Japan**]をクリックし、内容を確認の上、同意して次へ進むには[**Accept Agreement & Continue**]をクリックします。
4. 「Download and Install」ページの Step 2 で「**Download**」をクリックし、指示に従い選択を行うと IM が起動します。

(既にダウンロードされたファイルから IM を開始するには「setup.exe」をダブルクリックします。)

その後は、表示されるメニューに従い選択または入力を行うことで簡単にインストールされます。

インストール容量は最大で約 6GB です。全ファイルのダウンロードを行う場合には更に約 8GB の HDD 空き容量が必要です。IM によって必要な容量が表示され、不足している場合にはメッセージが表示されます。

なお、インストールに関する詳細はそれぞれの画面において [ヘルプ]  ボタンよりご確認ください。



●SolidWorks 2011 のインストールは、基本的に大きく 3 ステップ(画面)で構成されています。

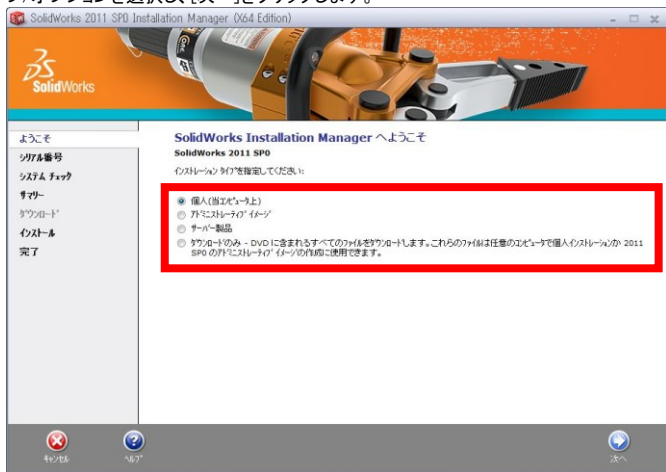
- ① インストールタイプの選択
- ② シリアル番号の入力
- ③ サマリー(設定の確認、変更)



以下に、インストール中に表示される主なダイアログメニューに関する補足説明を記します。
 『▼』表記は、特定の条件でのみ表示される画面(オプション)を示します。

① インストールタイプの選択

インストールが開始されると SolidWorks Installation Manager ウィンドウが表示されます。インストールのタイプ/オプションを選択し、[次へ]をクリックします。



●<個人(当コンピュータ上)>

マシンへの個別インストールです。⇒ [次ページ](#)へ進む

●<アドミニストレーティブイメージ>

複数マシンに展開するためのアドミニストレーティブイメージを作成します。⇒ [次ページ](#)へ進む

●<サーバー製品>

選択すると下記オプションが表示されます。

・<SolidWorks Workgroup PDM Server (ポルト)をこのコンピュータにインストールします。>

⇒ [P.17](#)へ進む

・<SolidNetWork License Manager (配布ライセンス)をこのコンピュータにインストールします。>

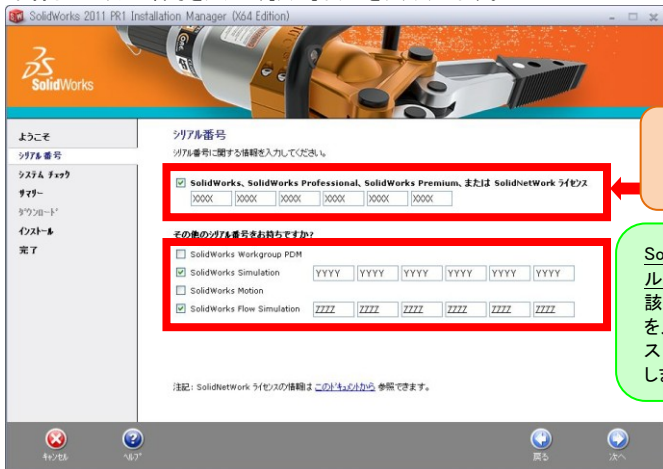
⇒ [P.20](#)へ進む

●<ダウンロードのみ> (DVD から IM を起動した場合には表示されません)

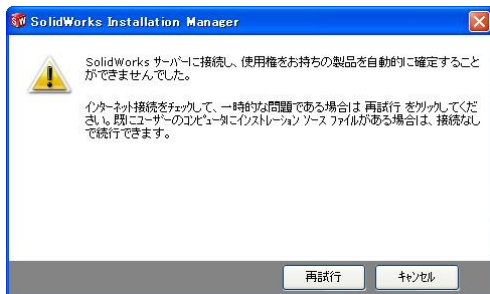
ダウンロードのみを行います。ダウンロードしたファイルから各種インストール/アドミニストレーティブイメージの作成を行うことができます。32bit OS 上で 64bit 版をダウンロードする場合には、64bit 版のIMを起動します。(ダウンロードのみの場合の基本的な手順は P.5 の①②③となり、『③ サマリー(設定の確認、変更)』画面でのダウンロードオプションについては P.11 ~12 をご参照ください。)

② シリアル番号の入力

お持ちのシリアル番号を入力し、[次へ]ボタンをクリックします。



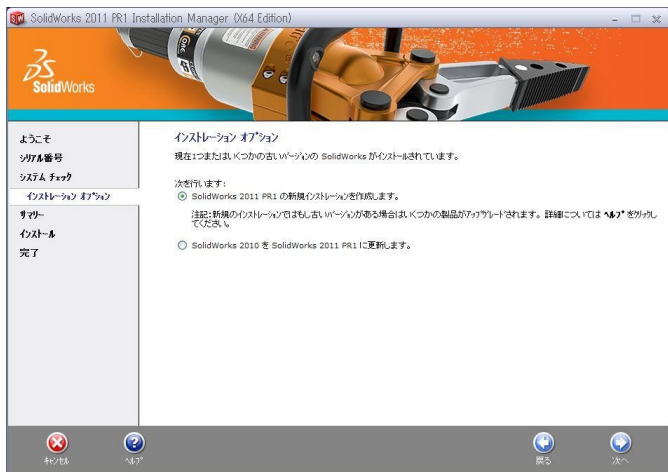
- ※ SolidWorks Motion の欄には、SolidWorks Motion 単体ライセンスをお持ちの場合のみご入力ください。
- ※ この画面でシリアル番号を入力しない場合は、eDrawings, SolidWorks Explorer などの無償の製品のみのインストールとなります。



- ▼インターネットに接続できない場合に [次へ] をクリックすると左図の画面が表示されます。[キャンセル] をクリックすると次へ進みます。入力したシリアル番号に応じた製品が自動的に選択されないため、③-1 製品変更画面にてお持ちの製品を選択します。



▼ 『① インストールタイプの選択』で<個人>インストールを選択しており、既に旧バージョンの SolidWorks がインストールされている場合にのみ、この『インストールオプション』画面が表示されます。新規インストールを行うオプション、又は既存インストールのアップグレードを行うオプションを選択し、[次へ]ボタンをクリックします。

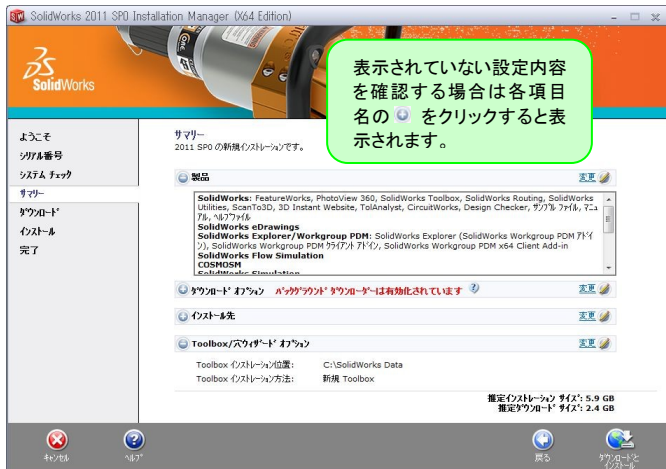


注1: 既存のバージョンからの SolidWorks 2011 への更新インストールは行わず、一度、既存バージョンをアンインストール後に、あらためて SolidWorks 2011 をインストールすることを推奨いたします。

注2: SolidWorks 2011 が既にインストールされている場合には、別のサービスパックの新規インストールはできません。前サービスパックがアップグレードされます。

③ サマリー(設定の確認、変更)

インストールやダウンロード等に合わせて、インストールする製品やオプションを確認/変更できます。



確認した設定を変更する必要がある場合には各設定の  をクリックすると変更画面が表示されます。

製品・・・入力したシリアル番号に応じた製品が自動的にインストールする製品として選択されます。インターネットに接続できずシリアル番号の認証が行われていない、またはインストールする製品を変更する場合にはここで変更します。⇒③-1をご参照ください。

ダウンロードオプション・・・バックグラウンドダウンローダーの設定や、ダウンロードが必要な場合にはダウンロード先のフォルダ、ダウンロード方法が変更できます。⇒③-2をご参照ください。

インストール先・・・SolidWorks のインストール先を変更できます。

Toolbox オプション・・・Toolbox の標準ライブラリの作成場所、作成オプション(新規/アップグレード)に変更がある場合にはここで変更します。⇒③-3をご参照ください。

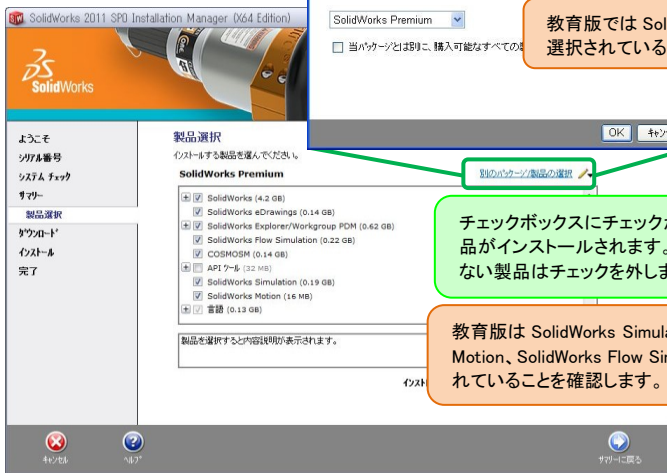
※各変更画面において変更を終了後、「サマリーに戻る」をクリックしてサマリー画面に戻ります。
このサマリー画面からダウンロード(必要な場合)とインストールを開始します。

▼ 『② シリアル番号の入力』でネットワーク版のシリアル番号を入力した場合のみ『③ サマリー(設定の確認、変更)』から[[ダウンロードとインストール]を開始すると、SNL サーバー位置指定のダイアログが表示されます。



ガイダンスを読み「25734@サーバー名」のように入力し、[OK]をクリックします。

③-1 「製品」変更画面



教育版では SolidWorks Premium が選択されていることを確認します。

チェックボックスにチェックが入っている製品がインストールされます。インストールしない製品はチェックを外します。

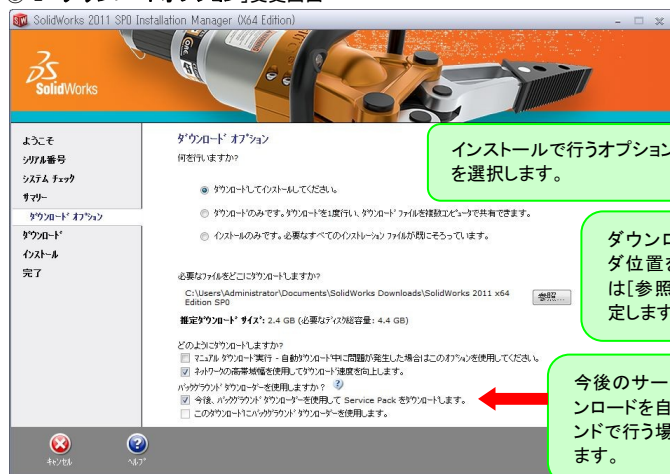
教育版は SolidWorks Simulation、SolidWorks Motion、SolidWorks Flow Simulation も選択されていることを確認します。


・インストールするパッケージを変更する場合には「別のパッケージ/製品の選択」をクリックします。表示された画面でパッケージを変更します。

・「当パッケージとは別に、購入可能なすべての製品を表示します」にチェックを入れ[OK]をクリックすると、購入可能なすべての製品が表示されます。

※ 2D Editor は SolidWorks のインストールには含まれず、ダウンロードのみで提供されます。詳細は「Customer Portal ガイド」をご参照ください。

③-2 「ダウンロードオプション」変更画面



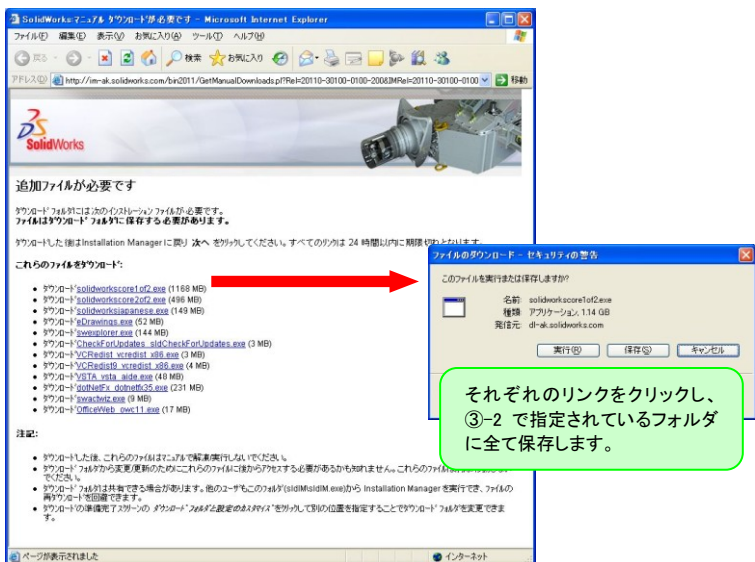
バックグラウンドダウンローダーについては  をクリックすると詳細を確認できます。

▼ マニュアルダウンロード画面

ダウンロードオプション画面で「マニュアルダウンロード実行」にチェックが入っている場合のみ、『③ サマリ (設定の確認、変更)』で[ダウンロードとインストール]をクリックすると下記画面が表示されます。

※「マニュアルダウンロード実行」オプションは通常のダウンロードがネットワークのセキュリティ等で実行できない場合に選択します。





ここに表示されている全てのファイルのダウンロードが完了したら、IMの画面(マニュアルダウンロード画面)で「次へ」をクリックします。③-2「ダウンロードオプション」で「ダウンロードしてインストールしてください」オプションを選択している場合は自動的にファイルの解凍が行われ、インストールが開始されます。

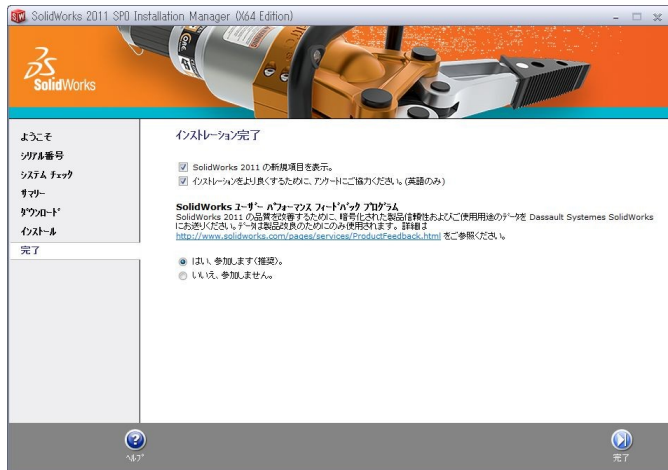
③-3 「Toolbox オプション」変更画面



- a. <新規 2011 Toolbox 作成>・・・新規に SolidWorks 2011 の SolidWorks Toolbox を作成します。
- b. <ノバージョン Toolbox アップグレード>・・・既存の SolidWorks Toolbox をアップグレードします。
 ▼ 既に旧バージョンの SolidWorks がインストールされている場合にのみこのオプションは表示されます。
 旧バージョンの SolidWorks Toolbox を保持した上で、そのコピーをアップグレードする場合には、このオプションを選択し[参照]をクリックしてコピーした先のフォルダを指定します。
- c. <既存の Toolbox を使用します>・・・既存の SolidWorks Toolbox をアップグレードしてそのまま使用します。



インストールが完了すると、「インストレーション完了」画面が表示されます。



・「**SolidWorks 2011 の新規項目を表示**」にチェックが入っていると、[完了]をクリック後に新規機能のガイド文書(PDF)が起動します。

・「**インストレーションをより良くするために、アンケートにご協力ください。(英語のみ)**」にチェックが入っていると、[完了]をクリック後にインストールに関してのアンケート(英語)が表示されます。

・「**SolidWorks ユーザーパフォーマンス フィードバックプログラム**」では、インターネットに接続できる環境であれば「はい、参加します」を選択します。SolidWorks が実際の使用でどのように動作しているかを把握し、今後の開発に役立てることを目的としたものです。SolidWorks の起動/終了時間、使用状況等、いくつかの情報を記録したログファイルが生成されます。インターネットに接続できる環境の場合にのみ、定期的に SolidWorks 社へ自動送信が行われます。この設定はインストール後、SolidWorks のツール/オプションでも変更できます。

なお、[完了]をクリックした後、PC を再起動するかのメッセージが表示された場合は、他のソフトウェアを終了の上、必ず PC の再起動を実施ください。



SolidWorks インストールについての補足事項

SolidWorks の変更/修復、削除

○インストール完了後に製品の変更/修復を行う場合にはコントロールパネルの「プログラムの追加と削除」より SolidWorks 2011 を選択し[変更]をクリックします。インストール時と同様の手順で変更(または修復)することが可能です。

○製品の削除を行うにはコントロールパネルの「プログラムの追加と削除」より SolidWorks 2011 を選択し[削除]をクリックします。手順に従い選択した製品を削除することができます。

SolidWorks のサービスパック (SP) アップグレード


新しい SP へのアップグレードを行うには、アップグレードを行う SP の IM を起動することにより開始できます。

新しい SP の IM を起動するには・・・

○Windows タスクバー通知領域に表示されたバックグラウンドダウンローダーのメッセージをクリック
(バックグラウンドダウンローダーについては P.11 を参照)

⇒バックグラウンドダウンローダーのオプションが「アップデート自動チェック」になっている場合には新しいバージョンがある旨のメッセージをクリックすると IM が起動します。

⇒バックグラウンドダウンローダーのオプションが「アップデート自動ダウンロード」になっている場合には新しいサービスパックのダウンロード終了後にメッセージが表示されます。

※ バックグラウンドダウンローダーのオプションは Windows タスクバー通知領域のバックグラウンドダウンローダーアイコン  をクリックすることによりメニューが表示されます。ここより自動ダウンロードの保存先を変更することも可能です。

○Windows の「すべてのプログラム > SolidWorks Installation Manager > アップデート チェック」を実行

○SolidWorks の「ヘルプ > アップデート チェック」を実行

○「<http://www.solidworks.com/>」の Customer Portal にログイン後、[Downloads and Updates](#) をクリックし、該当する SP の [SolidWorks](#) リンクをクリック

手順に従い、アップグレードをおこなう SP の IM が起動したら、P.5～14 と同様の手順でアップグレードをおこないます。ただし、アップグレード時には P.5 の「②シリアル番号の入力」画面は表示されません。



2. 製品のアクティベーション

SolidWorks 2011 ではライセンス認証システム「ライセンスアクティベーション」が導入されています。ライセンスアクティベーションは、インストールの過程においてソリッドワークス製品の正規ユーザーを安全かつスムーズに認証するプロセスです。

● スタンドアロン版のライセンス アクティベーション対象製品は下記となります。

- ※ SolidWorks Standard
- ※ SolidWorks Office
- ※ SolidWorks Professional
- ※ SolidWorks Premium
- ※ SolidWorks Add-in 製品 (SolidWorks Workgroup PDM Viewer を除く)
- ※ SolidWorks Simulation Professional
- ※ SolidWorks Simulation Premium
- ※ SolidWorks Flow Simulation
- ※ SolidWorks Motion

● SolidWorks 2011 および SolidWorks Simulation 2011 のプログラムをインストールした場合、最初の起動時に『SolidWorks 製品のアクティベーション』画面が表示されますので、“今 SolidWorks 製品をアクティブ化する”を選択したまま、〈次へ〉をクリックし、手順に従いアクティベーションを行います。

ライセンスアクティベーションについての詳細は、以下ページ内にある関連文書(ライセンスアクティベーション操作マニュアル等)をご参照ください。

<https://www.solidworks.co.jp/install> (商用版)

<http://www.solidworks.co.jp/sw/engineering-education-software.htm> (教育版)



3. SolidWorks Workgroup PDM のインストール

3.1 SolidWorks Workgroup PDM のライセンス

SolidWorks のアドイン製品として SolidWorks Workgroup PDM をインストールする際、SolidWorks Professional または Premium が必要です。または SolidWorks を使用しない SolidWorks Workgroup PDM クライアント (SolidWorks Explorer) のインストールには SolidWorks Workgroup PDM Contributor のシリアル番号 (P.7 『② シリアル番号の入力』画面で SolidWorks Workgroup PDM に入力します) または SNL ライセンスが必要です。SolidWorks Workgroup PDM Viewer をインストールするには SolidWorks Workgroup PDM Viewer のライセンスキーが必要になります。

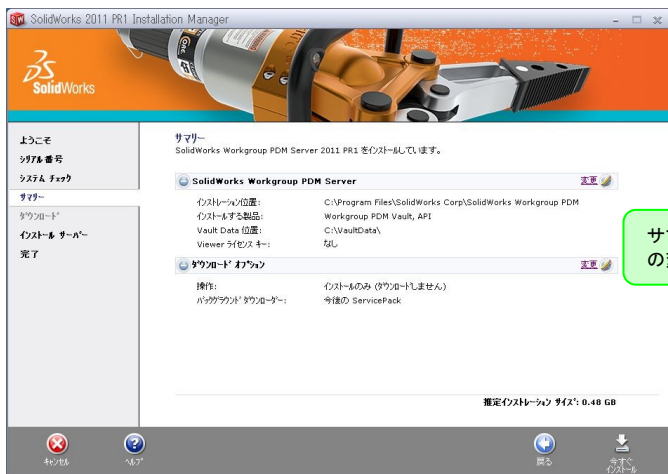
※以前のバージョンで PDMWorks Advanced Server をお使いの場合、SolidWorks2011 でインストールする製品は「SolidWorks Workgroup PDM Viewer」となります。

3.2 SolidWorks Workgroup PDM Server のインストール

P.6 『① インストールタイプの選択』画面において、<サーバー製品>の<SolidWorks Workgroup PDM Server (ボルト)をこのコンピュータにインストールします> を選択し、[次へ]をクリックします。

(▼旧バージョンの SolidWorks Workgroup PDM がインストールされている場合は、<サーバー製品>の<このコンピュータの SolidWorks Workgroup PDM Server バージョン SPOOをアップデートします> を選択します。)

※アップデート後のボルトデータは以前のバージョンの SolidWorks Workgroup PDM と使用することはできなくなるため、アップデート前にボルトデータのバックアップコピーを取ることを強く推奨いたします。



サマリー画面で [SolidWorks Workgroup PDM Server] の 変更 をクリックするとオプション画面が表示されます。



インストールの設定が終了したら[サマリーへ戻る]をクリックし、サマリー画面から[今すぐインストール]をクリックしてインストールを開始します。

SolidWorks Workgroup PDM Server インストール完了後、ファイアウォールをお使いのマシンではファイアウォールの設定を以下のように行う必要があります：

Windows でスタート (Start)、すべてのプログラム (Programs)、アクセサリ (Accessories)、システム ツール (System Tools)、セキュリティ センター (Security Center) をクリックします。

Windows ファイアウォール をクリックします。

例外 (Exceptions) タブ で **ポートの追加 (Add Port)** をクリックし、SolidWorks Workgroup PDM アクセスのための 3 つのポートを追加します。デフォルトのポートは **20000 (VaultAdmin)**、**30000 (Data)**、**40000 (Request)** となります。



3.3 SolidWorks Workgroup PDM Clients のインストール

Workgroup PDM Clients を使用する場合は SolidWorks Explorer をインストールします。

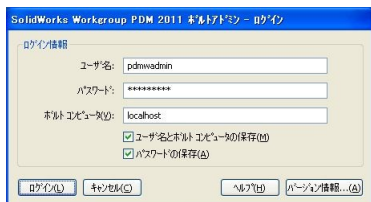
P.10 ③-1 製品の変更画面において、SolidWorks Explorer/ Workgroup PDM をクリックして展開すると以下のような画面を確認することができます。

- SolidWorks Explorer/Workgroup PDM (0.45 GB)
 - SolidWorks Explorer (0.21 GB)
 - SolidWorks Workgroup PDM アドイン
 - SolidWorks Workgroup PDM クライアント アドイン (0.16 GB)
 - SolidWorks Workgroup PDM VaultAdmin (31 MB)

[SolidWorks Workgroup PDM アドイン] は SolidWorks Explorer 初期起動時に、SolidWorks Workgroup PDM アドインを有効にする場合に選択します。

[SolidWorks Workgroup PDM クライアントアドイン] は SolidWorks 上で、SolidWorks Workgroup PDM アドインを使用する場合に選択します。

[SolidWorks Workgroup PDM VaultAdmin] (ボルト管理ツール)をインストールするかを選択します。



VaultAdmin をインストールした場合はログインできるかをご確認ください。デフォルトは下記です。

- ・ユーザー名 : pdmwadmin
- ・パスワード : pdmwadmin
- ・ボルトコンピュータ : Vault がインストールされている PC のホスト名です。Vault がインストールされている PC で VaultAdmin を実行する場合は、localhost と入力します。

Client、VaultAdmin のアップグレードに関しては、SolidWorks Workgroup PDM オンラインヘルプをご参照ください。

(補足) SolidWorks Workgroup PDM Viewer

詳細については P.4 の「SolidWorks インストールおよびアドミニストレーション ガイド」の、「Workgroup PDM Viewer」をご参照ください。



Part II SolidWorks SolidNetWork License(SNL) Manager インストール

注意事項

- (1) SolidWorks 2011 SolidNetwork License Manager (以下、SNL Manager)は SolidWorks 2004 ~ SolidWorks 2010 SNL Manager と同一サーバー内で使用することができません。SolidWorks 2004 ~ SolidWorks 2010 SNL Manager を削除した上で SolidWorks 2011 SNL Manager をインストールするか、別のサーバーにインストールする必要があります。
- (2) SolidWorks 2003 用、またはそれ以前のバージョンのライセンスを SolidWorks 2011 にアップグレードしない場合、SolidWorks 2003 以前の SNL Manager と SolidWorks 2011 の SNL Manager は動作環境が異なるため、インストールするサーバーを分ける必要があります。
- (3) SolidWorks 2011 で SNL Manager はスタンドアロン版と同様にライセンス認証システム「ライセンスアクティベーション」によりライセンスを取得します。SNL ライセンスファイルとドングルは必要ありません。詳細は <https://www.solidworks.co.jp/install> (商用版)
<http://www.solidworks.co.jp/sw/engineering-education-software.htm> (教育版)のライセンスアクティベーションについての項目をご参照ください。
- (4) SolidWorks 2011 の SNL Manager をお使いいただくには、シリアル番号に対して SolidWorks 2011 の使用権利が必要です。
- (5) クライアントで SolidWorks 2011 をご使用いただくには SNL Manager 2011 が必要です。

本セクションでは、SolidWorks 2011 SNL Manager のインストール、機能、操作、運用についての代表的な方法について説明します。また、P.4 の「SolidWorks インストールガイド」にも SNL Manager インストールについて掲載されています。併せてご参照ください。

1. 概要

SolidNetWork ライセンス (SNL) では購入ライセンスを”フロード”することにより、お求めになったライセンス数を超過することなく、SolidWorks やアドイン製品のシート数を実際のライセンス数よりも多くインストールできます。

以下に SolidNetWork ライセンスの典型的なシステム構成例を記します。

- ・LAN 上で PC (Windows XP Professional) が例えば 31 台稼働している。
- ・その内の 1 台に SNL Manager をインストールしてライセンス サーバーとして機能させる。購入したライセンス数は仮に SolidWorks Premium 30 ライセンスとする。
- ・残りの 30 台の PC には SolidWorks をライセンスクライアントとしてインストールする。
- ・任意の SolidWorks ライセンスクライアントで 1 台目の SolidWorks を起動する。この際に、ライセンスサーバーと通信し、1 ライセンスの使用許可を得る。その結果、あと 29 ライセンスが使用可能数として残る。
- ・同様に、残りの任意の PC で SolidWorks を起動し、最大 30 台の同時使用が可能。



2. バージョンアップ手順

SolidWorks 2011 では、ライセンスサーバー上の SNL Manager をアップグレードすることが可能になりました。ただし、SolidWorks 2010 からのアップグレード時には旧バージョンでライセンスをトランスファーした上で SNL Manager をアップグレードします。サービスパック (SP) 間のアップグレードではトランスファーは必要ありません。インストール方法は、次項目「インストール手順」をご参照ください。バージョンアップ実行前に、ライセンスを使用しているクライアントがいないことを確認し、ライセンスサーバーを停止する必要があります。詳しい手順と注意事項については P.4 の「SolidWorks インストール手順及びアドミニストレーション ガイド」をご参照ください。

3. インストール手順

3.1 インストールの全体手順

標準的な作業手順は下記のとおりです。

1. SolidWorks ライセンスサーバーへの SNL Manager インストール
 2. SolidWorks ライセンスサーバーでのアクティベーション
 3. クライアントPCへの SolidWorks のインストール
- 本セクションでは、上記手順をベースに説明します。

3.2 SNL Manager インストール手順

P.6 『① インストールタイプの選択』画面において、〈サーバー製品〉の〈SolidNetWork License Manager (配布ライセンス)をこのコンピュータにインストールします〉を選択し[次へ]をクリックして「SolidNetWork License Manager オプション」画面を表示させます。



ネットワーク版の複数シリアル番号 (SolidWorks Simulation など別製品のシリアル番号が別途ある場合、SolidWorks シリアル番号が複数ある場合) をお持ちの場合は、左図のようにカンマ区切りでシリアル番号を入力します。

※同一製品に対する複数シリアル番号は、購入代理店とサブスクリプションサービス期間が同じである必要があります。それ以外の場合で同一サーバーにて運用をおこないたい場合には購入代理店までご相談ください。

3.3 ライセンスサーバーでのライセンスアクティベーション手順

ライセンスのアクティベーションによりお持ちの製品をサーバー上で認識させることができます。



アクティベーション前に SNL Manager を起動すると左図のような画面が表示されます。[はい]をクリックすると、次画面が表示されます。アクティベーションを実行せずに SNL Manager を起動する場合には、[いいえ]をクリックします。トライアドサーバーの場合にはアクティベーションは行いませんので[いいえ]をクリックします。

(1) アクティベーションウィザードの起動



ファイアウォールをご使用の場合には「このサーバーのファイアウォールは使用中です」にチェックを入れます。ポート番号は 25734 と 25735 がデフォルト設定されます。この値が他の SolidWorks 以外のシステムと干渉する場合は、1024 から 60000 の間で変更できます。また、オプションファイルを使用する場合には「オプションファイル」にチェックを入れ、[参照]ボタンよりオプションファイルのパスを指定し、[編集]ボタンよりオプションファイルの新規作成、または既存ファイルの編集を行います。オプションファイルの使用例は P.31 を参照してください。

(2) アクティベーション方法の選択



インターネット経由でアクティベーションを行うか、電子メールでアクティベーションを行うかを選択します。連絡情報の電子メールに入力後、[次へ]をクリックします。インストール時のライセンス情報画面で複数シリアル番号を入力した場合には、ここでアクティベーションを行うシリアル番号を 1 つまたは複数選択します。複数のシリアル番号を選択すると同時にアクティベーションする事が可能です。

※ アクティブ化の方法として「電子メールをマニュアルで送信」を選択した場合には、複数シリアル番号を同時にアクティベーションすることはできません。

(3) ▼マニュアルでのアクティベーション画面(2)で「電子メールをマニュアルで送信」を選択した場合のみ
 「電子メールをマニュアルで送信」はインターネットにつながっていない環境、または「インターネットを自動的に使用」でアクティベーションをおこなうことができない場合に使用します。



(a) [保存]をクリックし任意の場所に、「SWActivateRequest_...」(リクエスト)ファイルを保存します。

(b) 「SWActivateRequest_...」ファイルを activation@solidworks.com まで添付ファイルとして送信します。

(c) 数分後に「SWActivateResponse_...」(レスポンス)ファイルが返信されてきますので、任意の場所に保存し、[開く]より保存したレスポンスファイルを参照します。



(4) アクティベーション完了画面

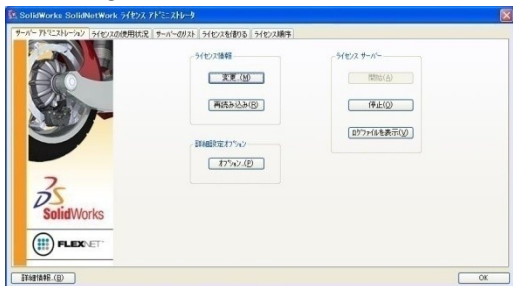
アクティベーションが完了すると、認証された製品名と本数が表示されます。
 [完了]をクリックするとアクティベーションが完了となり、SNL Manager が起動します。

これでライセンスサーバーへの SNL Manager のインストールとライセンスのアクティベーションは終了です。

ライセンスクライアントのインストールは、
 ⇒Part I SolidWorks クライアントインストールをご参照ください

3.4 SNL Manager インストール後の追加ライセンスアクティベーション/トランスファー手順

(1) SNL Manager 画面



アクティベーションしていない状態の場合はSNL Managerを起動し、[変更]をクリックします。アクティベーションウィザードが表示されます。

(2) トランスファー/再アクティベーション画面



既にアクティベーションされた状態で[変更]をクリックすると、左図の画面が表示されます。

○3.3 (2)項目で他シリアル番号のアクティベーションを行う場合はここで「ソフトウェアライセンスのアクティブ化/再アクティブ化」を選択します。

○ライセンスのトランスファーを行う場合にはここで「ソフトウェア ライセンスのトランスファー」を選択します。

サービスパックのアップグレード時や、アンインストールを行う際にライセンスサーバーマシンの変更を行わない場合にはトランスファーは必要ありません。

注意！ SNL Manager のライセンストランスファー回数には制限があります。「トランスファー可能な数を超えています」とのメッセージが表示され、トランスファーが行えなくなった場合には代理店までご連絡ください。

(3) 詳細オプション



SNL Manager のサーバーアドミニストレーションタブで[オプション]をクリックすると左図のダイアログが表示されます。通常は「アクティベーション使用」オプションを選択します。トライアドサーバー運用時と、トラブル対応時等に一時ライセンスが発行された場合のみ「ライセンスファイル使用」オプションを選択します。その後同タブで[変更]をクリックし、ライセンスファイル使用のためのウィザードでライセンスファイルを読み込みます。

4. SNL Manager に関する機能・操作説明

4.1 ライセンスサーバー上での SNL Manager

ライセンスサーバー上で SNL Manager を使用した操作を以下に順次説明します。

ライセンスサーバーPC に Administrator でログインし、SNL Manager を起動します（「スタート」→「すべてのプログラム」→[SolidWorks <バージョン番号>]→「SolidNetWork License Manager」→「SolidNetWork License Manager」）。下記画面が表示されます。

※ライセンスサーバー上の SNL Manager では、[ライセンスを借りる]タブと[ライセンス順序]タブは使用しません。



サーバーアドミニストレーションタブの [ログファイルを表示(V)] をクリックすると、次ページのようなテキストファイルが表示されます。このログの中には、SolidWorks および Add-in の使用者アカウント、開始・終了時間が時系列で表示されます。また、この内容は、テキストファイルとして保存できます。

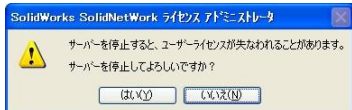
----- ログファイル例 -----

```

11:17:17 (SW_D) OUT: "solidworks" Administrator@PC-1
11:17:36(SW_D) UNSUPPORTED: "photoworks" (PORT_AT_HOST_PLUS) Administrator@PC-1 (License
server does not support this feature (-18,327))
11:17:36(SW_D) UNSUPPORTED: "swoffice" (PORT_AT_HOST_PLUS) Administrator@PC-1 (License server
does not support this feature (-18,327))
11:17:36 (SW_D) OUT: "swofficepremium" Administrator@PC-1
11:23:05 (SW_D) IN: "swofficepremium" Administrator@PC-1
11:33:34(SW_D) UNSUPPORTED: "featureworks" (PORT_AT_HOST_PLUS) Administrator@PC-1 (License
server does not support this feature (-18,327))
11:33:34 (SW_D) OUT: "swofficepremium" Administrator@PC-1
11:35:30 (SW_D) IN: "swofficepremium" Administrator@PC-1
11:39:41 (SW_D) IN: "solidworks" Administrator@PC-1
12:08:06 (SW_D) OUT: "solidworks" Administrator@PC-2

```

ライセンス サーバー／ [停止(O)]をクリックすると、下記確認ダイアログが表示されます。
(注)ライセンス使用中にサーバーを停止しないようご注意ください。必ず「ライセンスの使用状況」タブでライ
センスが使われていないことをご確認ください。



4.2 ライセンスサーバー/クライアント共通の SNL Manager 操作方法

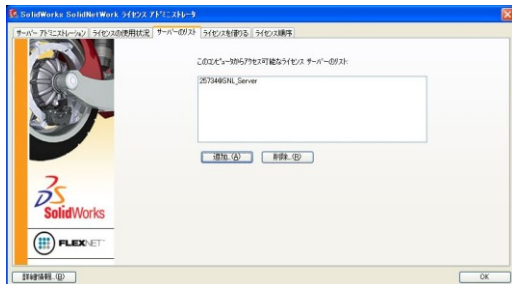


[ライセンスの使用状況]タブには、ライセンスサーバー名、ライセンスの合計数、未使用ライセンス数が表示されます。左図では、ライセンスクライアントが1台も立ち上がっていない状態であり、20ライセンスが使用可能であることを示しています。



左図は、SolidWorks クライアントが2台、11月1日10時6分と10時10分に起動したことを表示しています。

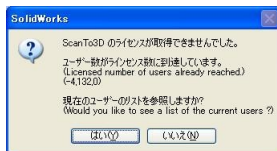
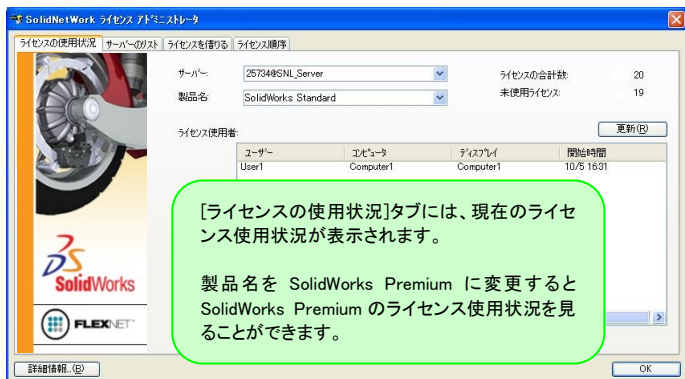
ライセンスを貸し出しているクライアントもここに表示されます。返却期限が「返却日」に表示されます。



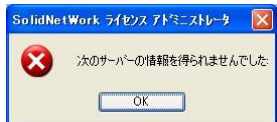
[サーバーのリスト]タブには、使用するライセンスサーバーが表示されます。複数サーバーを使用する場合には[追加]をクリックして「25734@サーバー名」で追加します。

4.3 ライセンスクライアント上での SNL Manager

ライセンスクライアント PC にログインし、[スタートメニュー]→[すべてのプログラム]→[SolidWorks <バージョン番号>]→[SolidWorks ツール]→[SolidNetWork License Manager]を起動すると、以下のダイアログでライセンス情報確認を行うことができます。

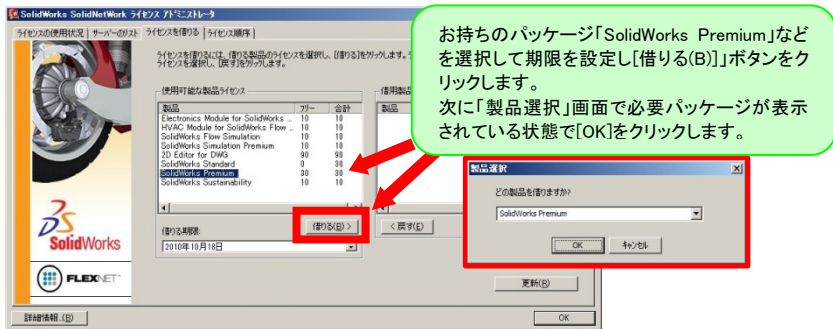


SolidWorks 使用者が、例えば ScanTo3D をアドインしようとした時に既に全てのライセンスが他のユーザーにより使用されている場合は、警告画面が表示されます。〈はい〉をクリックすると SNL Manager が起動し、現在使用しているユーザーを確認することができます。



ライセンスサーバーが立ち上がっていない時やライセンスサーバーに接続できない場合にライセンスクライアントをスタートさせると、左図のエラーメッセージが表示されます。

- クライアントでライセンスを借りる場合は、借りる期限と製品の種類を選択し[借りる(B)]ボタンをクリックします。借りる期限は 30 日までです。31 日以上の日付を設定することはできません。



※ Premium 等のパッケージを借りる必要がない場合には「製品選択」画面で SolidWorks Standard を選択します。

●ライセンスの取得順序の変更(クライアントでの設定)

[ライセンス順序]タブに表示されているパッケージ製品を並び替えることにより、クライアントがライセンスを取得する順序を変更することができます。

下記の図では SolidWorks Standard、SolidWorks Premium、SolidWorks Simulation Premium ライセンスを持っている場合の例になります。

SolidWorks Simulation Premium を上にすると、SolidWorks で Simulation をアドインした時に SolidWorks Premium ではなく、先に SolidWorks Simulation Premium ライセンスを取得します。その後 Simulation 製品以外の SolidWorks Premium 製品を使用すると SolidWorks Premium ライセンスも取得します。



5. システム環境条件等補足説明

5.1 ライセンスサーバー管理者がいること

- ・管理者はどのクライアントにどの製品がインストールされているか等、クライアントの構成を把握している必要があります。
- ・ライセンスサーバーにトラブルが発生する可能性は否定できません。その影響度を考えると、トラブル時に管理者による迅速な対応ができる体制が必須です。

5.2 ライセンスサーバー

- ・Windows XP Professional、Windows 2008 Server、Windows 2003 Server (推奨)がインストールされているコンピュータにインストールする必要があります。
- ・ライセンスサーバーには、固定 IP アドレスを割り振り、クライアントから名前解決ができることが必要です。
- ・ワークステーションの場合は、Windows 仕様としてクライアントからの同時コネクション数は最大 10 の制限がありますが、SNL としての使用制限にはなりません。
- ・ライセンスクライアントからルータを介してライセンスサーバーと通信する場合も、TCP/IP 上での名前解決メカニズムに依存します。(サーバー名指定時のドメイン名の付加は不要)
- ・サーバーへの 25734 及び 25735 (デフォルト時)ポートへの通信が、途中に存在するルータ、ファイアウォール、ゲートウェイ等を通して通信することが必要です。
- ・SolidWorks ファイルサーバー/クライアントインストール構成の場合は、ライセンスサーバーPC を SolidWorks ファイルサーバーとは別に構築することを推奨します。
- ・ライセンスサーバーには SolidWorks および他のアプリケーションをインストールせずに、クリーンな状態にしておくことを推奨します。
- ・SolidWorks 2011 SolidNetwork License Manager では SolidWors2004~2011 を動かすことができます。

ファイアウォールをお使いのマシンではファイアウォールを設定する必要があります。

Windows ファイアウォールの設定方法:

SNL では 2 つのポートを使用しています。

デフォルトのポート番号 (IN)・・・25734、(OUT)・・・25735

Windows で**スタート(Start)、すべてのプログラム(Programs)、アクセサリ(Accessories)、システム ツール(System Tools)、セキュリティ センター(Security Center)**をクリックします。

Windows ファイアウォールをクリックします。

例外(Exceptions)タブでポートの追加(Add Port)をクリックし、名前「SNL in」・・・ポート番号「25734」、名前「SNL out」・・・ポート番号「25735」を追加します。

5.3 ライセンスクライアント

- ・ライセンスを確認するタイミング、間隔を指定することはできません。また、これらの情報は公開されておりません。
- ・保存等の重要な処理・操作中にライセンスサーバーを認識出来なくなったときは、少なくともそれらの処理が終了するまでの間は、動作が継続します。
- ・ライセンスサーバーを認識出来なくなった場合でも、次にライセンスを確認するまでのしばらくの間 SolidWorks クライアント側での操作が可能です。
- ・SolidWorks 社製品以外の Add-In 製品は、SolidNetWork 管理対象外です。SolidNetWork 稼働環境でのそれらのアプリケーションの使用にあたっては、各ソフトウェアメーカーへお問い合わせください。

5.4 全般

- ・タイムアウトのデフォルト(即ち下記 sw_d.opt ファイルでの指定がない場合)は 120 分です。この間何も操作がないと使用権がタイムアウトし、サーバー側にライセンスを戻します。
 - ・以下手順で「sw_d.opt」ファイルに記述を行うことで 15 分以上のタイムアウト時間を設定可能です。
 1. P.22 3.3 (1)の画面で「オプションファイル」にチェックを入れ、[参照]ボタンをクリックし、「sw_d.opt」ファイルの作成場所を指定します。
(デフォルトパスは<SolidNetWork License Manager インストールフォルダ> \licenses)
 2. P.22 3.3 (1)の画面で[編集]ボタンをクリックし、指定したオプションファイルのパスに「sw_d.opt」ファイルが存在しない場合には「新しく作成しますか?」とのメッセージが表示されますので[はい]をクリックします。表示されたテキストに以下を記述し、ファイルを保存します。
TIMEOUTALL <指定秒数>
<指定秒数> 部分を 900(即ち 15 分)、またはそれ以上の数に置き換えます。60 分の設定例は下記のようになります。
TIMEOUTALL 3600
 3. その後、サーバーアドミニストレーションタブで[停止]、[開始]の順でボタン選択することによりオプション設定が適用されます。なお、指定した秒数と実際のタイムアウト時間との間には若干のずれが生じる場合があります。
 - ・タイムアウト後、クライアント側で操作を再開した後に、ライセンスを自動で再取得します。
 - ・タイムアウト後、ライセンスを再度取得に行った時点で残りのライセンスが無くなっていた場合でも、保存等の重要な操作は可能です。
- ・ライセンスを新規に購入し、ライセンスサーバーに追加する操作を、平常運用時に実施したい場合、SNL Manager で、ライセンスの再アクティベーションを実行した後、[停止]、[開始]の順でボタン選択します。これにより、新規ライセンス数に更新されます。クライアント側では、ライセンスを自動で再取得します。上記の間、クライアント側での SolidWorks の再起動は不要です。

・FLEXnet についての詳細(上記タイムアウト時間設定以外のオプション等)は下記の「FLEXlm End Users Guide(英文のみ)」をご参照ください。

<http://www.solidworks.com/pages/services/ServicePacks.html>



・ライセンスサーバーを切り替える場合は、下記手順で行います。

1. 使用中の SolidWorks クライアントを全て終了させる。
2. 現在のライセンスサーバーを停止し、ライセンスをトランスファーする。
3. 新しいライセンスサーバーでライセンスをアクティベーションする。
4. ライセンスサーバーを開始する。
5. SolidWorks クライアント側 SNL Manager の「サーバーのリスト」タブで、旧サーバー名を削除し、新しいサーバー名を追加する。
6. SolidWorks クライアントを起動する。

※SNL Manager のトランスファー回数には制限があります。「トランスファー可能な数を超えています」とのエラーによりトランスファーが行えなくなった場合には代理店までご連絡ください。

・SolidWorks クライアント側へのインストール時、または SolidWorks クライアント側 SNL Manager の「サーバーのリスト」タブで、ライセンスサーバー名を 2 つ以上設定しておくことができます。クライアントからアクセスする順番は、リストの一番上にあるサーバーから使用可能なライセンスを取得します。

・ライセンスサーバーは通常 1 台/サイトです。ただし、非常にクライアント台数が多い場合等は、状況によっては複数のライセンスサーバーを同一 LAN 上で稼働させることは可能です。

・同一製品に対して購入先が異なるライセンスサーバーを同一 LAN 内で同時に使用する場合は、下記運用とします。

—購入代理店別に、ライセンスサーバーPC を分けます。例えば、ライセンスサーバーPC_A では代理店A から購入したライセンス(例として 30 ライセンス)を稼働させ、ライセンスサーバーPC_B では代理店B から購入したライセンス(例として 70 ライセンス)を稼働させます。ライセンスサーバーの統合を希望する場合には購入代理店までお問い合わせください。また、1 台のPC上で同一バージョンの SNL Manager を複数稼働させることはできません。

・各クライアント PC で使用するライセンスサーバーをあらかじめ固定・登録することが必要です。例えば上記条件で、LAN 上に 100 台のクライアント PC がある場合、30 台にはライセンスサーバーPC_A のシリアル番号で SolidWorks をインストールし、残りの 70 台にはライセンスサーバーPC_B のシリアル番号で SolidWorks をインストールします。

・Add-In 製品については、SolidWorks Premium や SolidWorks Simulation Premium としてライセンス管理されます。

Part III 複数のクライアントマシンへのインストール

1. アドミニストレーティブイメージによる SolidWorks インストール

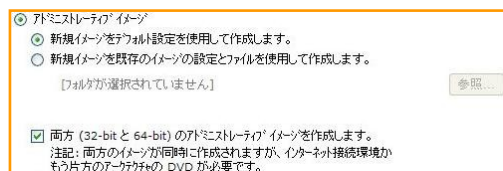
アドミニストレーティブイメージは、ディスク上のソースイメージと同じように、製品をインストールするためのソフトウェアのソースイメージです。アドミニストレーティブイメージを作成し、クライアントで展開することにより、複数のクライアントに SolidWorks 製品のインストールが可能です。

詳細については P.4 の「SolidWorks インストールガイド」の、「複数インストール」をご参照ください。

1.1 SolidWorks の新規アドミニストレーティブイメージ作成

アドミニストレーティブイメージ作成の際の基本的な手順は P.5 ①②③となります。

(1) イメージを作成するマシンにおいて DVD を挿入後、P.6 『① インストールタイプの選択』画面において、<アドミニストレーティブイメージ>の<新規イメージをデフォルト設定を使用して作成します。>を選択します。



※ 32bit 版と 64bit 版のアドミニストレーティブイメージ両方を作成する場合には「両方(32-bit と 64-bit)の・・・」オプションを選択することにより、順に作成されます。(両方の DVD メディア、または両方のダウンロードファイルが必要です)

(2) P.7 ②シリアル番号の入力画面ではスタンドアロン版とネットワーク版が混在の環境で、スタンドアロン版において自動アクティベーション(P.35 参照)を行う場合には、SolidWorks はスタンドアロン版のシリアル番号を入力する必要があります。

(3) サマリー画面からは「アドミニストレーティブイメージに含める製品」、「ダウンロードオプション」、「アドミニストレーティブイメージ位置」を設定できます。P.9 ③ サマリー(設定の確認、変更)を参考に、各設定をおこないます。

※eDrawings などのアドイン製品や Simulation 製品もアドミニストレーティブイメージに含むことができます。

設定完了後は [今すぐ作成] または [ダウンロードとイメージ作成] をクリックし、アドミニストレーティブイメージの(ファイルダウンロードと)作成を開始します。

2. SolidWorks アドミニストレーティブイメージ オプションエディタ

アドミニストレーティブイメージの作成完了後、SolidWorks アドミニストレーティブイメージ オプションエディタ (以下、オプションエディタ)を使用してクライアントへのインストール設定をおこないます。

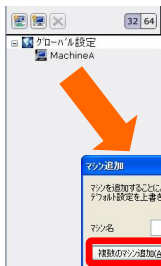
(1) オプションエディタの起動 (下記いずれかにより起動します)

- ・アドミニストレーティブイメージ作成完了後に自動で起動。
- ・作成されたアドミニストレーティブイメージ内にある **sldAdminOptionEditor.exe** をダブルクリック。

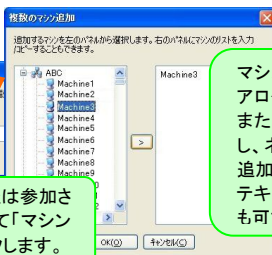


- ① 設定対象を 32bit イメージ / 64bit イメージに切り替えます。
(32bit / 64bit のイメージごとにインストールするマシンや設定を分けることが可能です)
 - ② 「セットアップ」/「配置」を切り替えます。(次ページ(3)参照)
 - ③ 「グローバル設定」(デフォルト設定)、「グループ」、「個々のマシン」を設定します。(次ページ(2)参照)
 - ④ 左側で選択した「グローバル設定」、「グループ」、「マシン」に対しての設定をおこないます。
 ボタンをクリックすると設定を変更することができます。設定するオプションの内容については P.7~10、P.36 等をご参照ください。
 - ⑤ 「OK」をクリックすると、変更内容が保存され、オプションエディタが終了します。
「閉じる」をクリックすると、変更がある場合には保存確認のメッセージが表示され、オプションエディタが終了します。
- ※ オプションエディタの使用方法及び詳細については[ヘルプ]ボタンをクリックしてご参照ください。

(2) オプションエディタにグループ、マシンを追加する方法



グループの追加・・・「グローバル設定」枠内で右クリックして「グループ追加」、または[新規グループ]ボタンをクリックし、グループ名を入力します。



マシンの追加 2・・・「マシン追加」ダイアログで直接マシン名を入力するか、または「複数のマシン追加」をクリックし、ネットワーク上のマシンを参照して追加することができます。テキストからマシン名をコピーすることも可能です。

マシンの追加 1・・・「グローバル設定」または参加させたい「グループ」を選択し、右クリックして「マシン追加」、または[新規マシン]ボタンをクリックします。

- ※1 マシンをグループにドラッグ&ドロップで移動できます。移動先のグローバル設定/グループ設定で上書きする場合は右クリックメニューから **グローバル設定に戻す** / **グループ設定に戻す** を選択します。
- ※2 「インストールするソフトウェア」設定は「グループ」や「マシン」毎にインストールする/しない製品を選択できます。
- ※3 ユーザーとグループの設定が異なる場合はユーザーで設定されている項目が優先されます。
- ※4 アドミニストレーティブイメージ特有の各設定は、次ページ(4)をご参照ください。

(3) オプションエディタでクライアントのアップグレードタイミングを管理する方法

新しいサービスパックのアドミニストレーティブイメージ作成後には、オプションエディタで各クライアントのアップグレードタイミングの管理、状況の確認をおこなうことができます。

1. オプションエディタで P.34 ②「配置」をクリックします。
[32]、[64]をクリックすると、それぞれに割り当てられたグループ、マシンの状況を確認できます。
2. グループ、またはマシンの「インストール可能」列をクリックすると、選択したグループ/マシンのアップグレードタイミングを選択できます。
 - ・現在使用可能・・・該当グループ/ユーザーで次回 SolidWorks 起動時にアップグレードが開始されます。
 - ・使用不可・・・該当グループ/ユーザーに対してはアップグレードが行われません。
 - ・特定の日付と時刻・・・設定した日時以降にクライアントマシンで SolidWorks を起動したタイミングでアップグレードが開始されます。

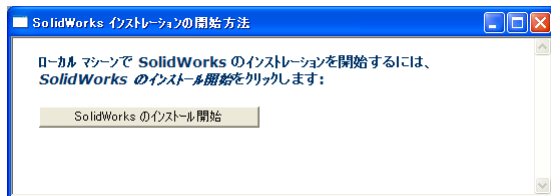


(4) アドミニストレーティブイメージ作成時の特有なオプション

- クライアントインストールオプション
 - メジャーバージョンのクライアントインストールをどの方法で行いますか？
クライアントインストールの際に、インストールされている既存バージョンの SolidWorks をアップグレードするか、新規にインストールするかを選択します。(既に SolidWorks 2011 がインストールされている場合、サービスパックはどちらのオプションを選択してもアップグレードされます)
 - SolidWorks 設定をどの方法で適用しますか？
クライアントにインストールされる SolidWorks の設定を指定します。
 - クライアントインストールはどの方法でアクティブ化しますか？
(▼IM にスタンドアロン版の SolidWorks シリアル番号を入力した場合のみ有効なオプションです)
このオプションを使用すると、クライアントに SolidWorks をインストール後、クライアントが SolidWorks を初めて使用する際に、SolidWorks ライセンスのサイレントアクティベーションが実行されます(各クライアントが初回 SolidWorks 起動時にインターネットに接続できる環境にある必要があります。またクライアントからアドミニストレーティブイメージフォルダに書き込み権限が必要です)。アドミニストレーティブイメージ作成完了後にライセンスアクティベーションの連絡情報の入力画面が表示されます。
- アドミニストレーティブオプション
 - 各インストールで診断ログファイルを作成します(時間がかかります)
クライアント インストールの診断ログ ファイルを作成します。(クライアントからアドミニストレーティブイメージフォルダに書き込み権限が必要です)
 - 別ユーザーとしてインストールを実行
クライアントで管理者権限を持つユーザー名とパスワードを入力し、ログインしているユーザー以外のユーザーとしてインストールを実行できます。このオプションにより、クライアントでインストール時にログインしているユーザーに管理者権限がなくてもインストールすることができます。
 - インストールの前(後)に次のプログラムを実行
インストールを行う前(後)に実行するプログラムを参照します。
※実行するプログラムの指定するパスがクライアントで有効な必要があります。
 - クライアントはユーザーパフォーマンスフィードバックプログラムに参加しますか？
ユーザーパフォーマンスフィードバックプログラムの詳細については P.14 をご参照ください。

3. クライアントへの SolidWorks インストール

- (1) アドミニストレーティブイメージを作成したフォルダを共有します。
- (2) クライアントに以下のいずれかの方法で通知します。
 - a. アドミニストレーティブイメージ内に作成された StartSWInstall.hta ファイルのショートカットを作成し、ショートカットをクライアントに配布する。
 - b. オプションエディタで「配置」モードにし、[メール送信]ボタンよりメールで通知する。
 - c. アドミニストレーティブイメージのパスを通知する。
- (3) クライアントで StartSWInstall.hta を起動すると、下記画面が起動します。
[SolidWorks のインストール開始]をクリックすることにより、SolidWorks のインストールが開始されます。



4. アドミニストレーティブイメージ/クライアントのアップグレード

アドミニストレーティブイメージ作成の際には、イメージを新規に作成する際もアップグレードの際も IM は新しいイメージを作成します。この作成されたイメージから新規に SolidWorks をインストールすることも可能です。作成方法は P.5 の①②③の手順となり、新規イメージ作成時と基本的に変わりません。アップグレード時の違い/ポイントは以下になります。

- (1) DVD、Web 等から新しくアップグレードするサービスパックの IM を起動します。(起動方法は P.4 1.2 「SolidWorks 2011 のインストール」をご参照ください。)
 - (2) P.33 (1) において、<新規イメージを既存のイメージの設定とファイルを使用して作成します。>を選択し、[参照]をクリックして既存イメージの場所を指定します。
 - (3) P.33 (3) 「アドミニストレーティブイメージの位置」では既存のイメージの場所ではなく、新規に作成する場所を指定します。
- アップグレードしたアドミニストレーティブイメージからクライアントの SolidWorks をアップグレード
 - (1) クライアントが前回インストールした元のアドミニストレーティブイメージの共有を解除します。
 - (2) 新規のイメージを共有し、共有名を元のアドミニストレーティブイメージと同じにします。
 - (3) クライアントで SolidWorks を起動するとオプションエディタの設定 P.35 (3)に従いアップグレードが開始されます。

付録 困った時は・・・

1. インストールに失敗する。

以下をご参照 / ご確認ください。

A: OS やその他基本動作環境を確認する

・動作環境ページ

ソリッドワークス・ジャパントップページ ⇒ カスタマーリソース ⇒ 「動作環境」ページ

<https://supportswj.solidworks.co.jp/pages/services/systemrequirements.html>

・ウイルス検知ソフト (掲載されているソフト、バージョンが違う場合には停止してインストールします)

ソリッドワークス・ジャパントップページ ⇒ カスタマーリソース ⇒ サポート&ナレッジベース ⇒ 参考資料 ⇒ アンチウイルス情報

http://www.solidworks.com/sw/support/AntiVirus_SW.html

B: ナレッジベースでインストールに関する FAQ を検索する (サブスクリプションサービス契約要)

ソリッドワークス・ジャパントップページ ⇒ カスタマーリソース ⇒ サポート&ナレッジベース ⇒ ナレッジベース ⇒ SolidWorks CAD ⇒ FAQs ⇒ Administration ⇒ Installation

例: FAQ タイトル「インストール中のエラー 1722」

C: 上記ナレッジベースの再インストール手順を参考に再インストールを実施する

FAQ タイトル「SolidWorks の再インストール手順」

上記で解決しない/分からない場合には表示されたエラーコードのメモや画像とインストールログを担当代理店までご連絡ください。

2. アクティベーションができない。

以下をご参照ください。

A: アクティベーションの基本操作や FAQ を確認する

ソリッドワークス・ジャパントップページ ⇒ カスタマーリソース ⇒ サポート&ナレッジベース ⇒ 参考資料 ⇒ 各種ガイド ⇒ ライセンスアクティベーション

<https://www.solidworks.co.jp/install>

B: ナレッジベースでアクティベーションに関する FAQ を検索する (サブスクリプションサービス契約要)

ソリッドワークス・ジャパントップページ ⇒ カスタマーリソース ⇒ サポート&ナレッジベース ⇒ ナレッジベース ⇒ SolidWorks CAD ⇒ FAQs ⇒ Administration ⇒ Activation